

科目		単位	時間	履修学年	講師名
実習後研修 (精神)		教科外	8 時間	3	中山 文聡 (8 時間)
ねらい	1. 対象理解における精神疾患や症状の理解が深める。 2. 精神症状のある対象とのコミュニケーション方法の習得に繋げる。 3. 臨地実習での経験を共有することで、経験できていない内容を学びに繋げる。				
回数	授業内容				授業方法
1 回目	実習要項の 8. に明示した実習内容の『実習目標に沿って②学びをレポートして提出する』レポートを、参加者で回し読みすることで、実習目標に沿った学びを共有する。				グループワーク
2 回目	レポートで文面に表現できなかった、具体的な実習経験における施設間の違いを共有する。 共有内容の経験場面がイメージできるように、積極的かつ具体的な質疑応答を行う。				グループワーク
3 回目	実習経験の違いから、精神看護における根拠法や環境、対象理解に不足していた疾患や症状、看護技術など、自分の経験と比較検討するために必要な追加学習を行う。				グループワーク
4 回目	『精神看護実習の学び』として、共有内容と経験内容を具体的に比較検討し、臨地実習経験から拡大させた学びの内容を、A4 普通紙 1600 字程度でレポート作成する。				個人ワーク
提出	印刷物を研修当日の 17 時までにグループ代表者が人数分揃えて職員室に提出				
教科書	精神看護演習で使用した教科書や資料及び講義資料				
評価方法	研修での学びは実習評価と関連する。 学習した内容は実習に持参し、活用すること。 具体的なプログラムは、各領域から配布される資料を参照すること。				